

# 経済建設委員会会議録

開催年月日	平成29年1月27日(金)		場所	議会委員会室		
案件	調査第6号「除排雪対策について」					
出席委員	黒岩委員長、石上副委員長、大栗委員、宇治委員、佐藤委員、広瀬委員					
欠席委員			事務局	澤田		
オブザーバー			傍聴者			
説明員	佐藤都市施設課長、中島都市施設課主幹					
開会時刻	13時29分	実会議時間	時間40分			
		休憩時間	時間10分			
閉会時刻	14時19分	延会議時間	時間50分			
次回日程	平成29年2月10日(金)午前10時					
要点記録	<p>&lt;概要&gt;</p> <p>9:00~12:00まで除排雪状況の現地調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査ルート 市役所 市街地(本町・桂木・西町) 清水山雪堆積場 大沼 山部 麓郷 布礼別 富丘 鳥沼 市街地(麻町・東町・緑町・扇町・未広町) 市役所</li> <li>現地調査後に担当課との意見交換</li> <li>・概ね市街地及び郊外、農村地区とも除雪が行き届いてる。排雪も終了した箇所では、街路樹やゴミステーション等の周りもきれいに処理されている。</li> <li>・除雪の順番は市街地では基本的に黄金道路を先に行い、若葉通り、朝日通り、相生通りなど幹線を行ってから細い生活道路に入っていく。異常気象時においても基本的には変わらない。</li> <li>・降雪が数十センチ積もった時や暴風雪の時には、除雪車は通常の出動時間より早く出動して通学通勤時間までに完了するように、天候の変化に応じてパトロール、除雪の出動体制が組まれている。</li> <li>・交差点等の付近に雪山が高くなっている箇所については、近隣の住民へ自分の敷地内でできる限り処理してもらうよう心がけてもらうとともに、安全対策として行政側も雪山ができる限り高くならないよう配慮されたい。</li> </ul>					

- ・清水山の雪堆積場へ駅東側からの雪を運搬しているが、ダンプトラックでの運搬に時間と経費がかかるので、駅東側へ新たな堆積場を確保されたい。
- ・農村地区では風雪が強い日に吹き溜まりが度々生じるが、パトロールや緊急通報によりスポット的に除雪に入るなど1日数回にわたって除雪対応されている。また、住居が遠く離れて点在している地区もあり、高齢世帯においてはライフライン確保の観点からも大雪時の除雪の緊急性は高い。
- ・市内公共施設等で行事があるときは、その施設周辺で短時間に車両通行が多くなり、降雪時と重なるとわだちが生じて路面状況が悪化するため、事前に情報収集を行い先回りして除雪することで事故や混雑も回避できると思われる。
- ・今後10年も経たないうちにどこの企業もオペレーターを確保するのが困難になってくる。現在作業にあたっているオペレーターの方たちが退職した場合、その除雪技術のノウハウを引き継ぐ若い人がいなければ除雪自体が出来なくなることも考えられる。行政として雇用に対する支援制度や技術向上の支援策に取り組む必要があるのではないか。

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。

経済建設委員長 黒岩岳雄